

J-クレジット制度
排出削減プロジェクト・
森林管理プロジェクト
妥当性確認報告書

プロジェクトの名称：

焼却炉におけるファンのインバーター制御の導入及び
未利用廃熱による蒸気発電機導入プロジェクト

妥当性確認 機関名	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター
--------------	--------------------------

発行日 2017年 2月 27日

1 妥当性確認機関の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

※ 「判断の根拠」に関する項目については、根拠としたプロジェクト計画書等の章番号、該当頁等を記載するとともにその妥当性について記載すること。(以下、本文書を通じて同様)

機関名称	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター
プロジェクトの関係者との利害 抵触	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
判断の根拠	一般社団法人日本能率協会地球温暖化対策センターの規程に基づき、検証機関とプロジェクト実施事業者及び審査員とプロジェクト実施事業者との利害相反分析を行い、利害関係のないことを確認した。

2 プロジェクト実施者の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

プロジェクト代表実施者 ※プログラム型プロジェクトの場合、「プログラム型運営・管理者」を記載すること。	環境開発株式会社
プロジェクト実施者（代表者以外） ※プログラム型プロジェクトの場合、「削減活動の実施者」を記載すること。	—
低炭素社会実行計画への参加実態 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input checked="" type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input type="checkbox"/> 該当なし
温対法特定排出者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input checked="" type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input type="checkbox"/> 該当なし
省エネ法報告対象者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input checked="" type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input type="checkbox"/> 該当なし

3 妥当性確認結果（総括）

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

妥当性確認実施期間		<input type="checkbox"/> プロジェクトの実施前 <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの実施後	
プロジェクト名		焼却炉におけるファンのインバーター制御の導入及び未利用廃熱による蒸気発電機導入プロジェクト	
認証予定期間 ※実施要綱に定められた認証対象期間内に設定されていることを確認して記載すること。		2017年3月22日 ～ 2025年3月21日	
適用方法論	方法論番号	<u>EN-S-005 Ver.1.0</u> <u>EN-S-010 Ver.1.0</u>	
	方法論名称	ポンプ・ファン類への間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御の導入 未利用廃熱の発電利用	
想定排出削減量・想定吸収量	認証予定期間の合計値	<u>EN-S-005 Ver.1.0</u> 1,016 t-CO2 <u>EN-S-010 Ver.1.0</u> 3,175 t-CO2 計 4,191 t-CO2	
プロジェクト実施者と合意した妥当性確認の前提	妥当性確認の基準 ※適用した制度文書類のバージョンを記載すること	文書名：実施要綱 文書名：実施規程（プロジェクト実施者向け） 文書名：実施規程（審査機関向け） 文書名：モニタリング・算定規程	Ver.3.1 Ver.3.0 Ver.1.2 Ver.2.6
	目的 ※プロジェクトの実施によって、プロジェクト計画書に記載された削減量・吸収量が実際に生じる見込みに対する評価を行うことも目的に含めて記載すること	プロジェクト事業者が作成したプロジェクト計画書に記載された内容について、上記記載の実施要綱、実施規程、モニタリング・算定規程、方法論に準拠していること、プロジェクト計画書に記載された削減量が生じる見込みに対する評価も含めて確認することを目的とした。	

	<p>範囲 ※妥当性確認の範囲がプロジェクト計画書の範囲であることを記載すること</p>	<p>プロジェクト計画書に記載された本プロジェクトに係る範囲</p>
	<p>保証水準 ※妥当性確認の結論を意見として表明する際に採用した水準を記載すること</p>	<p>合理的保証</p>
<p>妥当性確認手続 ※現地審査の実施有無について記載すること ※また、実際に実施した手続、スケジュールについて、サンプリング手法も含めて記載すること</p>		<p>■現地審査を実施した（2017年2月3日に訪問） □サンプリングで現地審査を実施した（ 年 月 日に訪問） □現地審査を実施していない</p> <hr/> <p>2017年2月3日に現地審査を実施し、当センターのチェックシートに基づき現地目視、根拠資料の確認、関係者へのインタビューを行った。</p>
<p>修正・指摘事項及び解決方法 ※4における結果を総括し、排出削減量又は吸収量に影響を与える可能性のある、主な指摘事項について記載すること</p>		<p>妥当性確認審査にて発見された排出削減量に影響を与える主な修正・指摘事項は、下記のとおりである。プロジェクト関係者から追加資料の提出、記載の修正等の対応により、当該事項全てが解決されたことを確認した。</p> <p>【EN-S-005 Ver.1.0】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加性の検討において、事業実施前後の電力単価が同じであり修正するよう指摘 ・想定電力使用量(kWh)を根拠資料とともに確認した結果、根拠資料に合わせ、修正するよう指摘 <p>【EN-S-010 Ver.1.0】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間発電電力量の計算に用いられている想定出力(kW)と年間稼働時間(h)を根拠資料とともに確認した結果、根拠資料に合わせ、修正するよう指摘
<p>妥当性確認結果</p>	<p>確認結果</p>	<p>■無限定適正 □不適正 □意見不表明</p>

	<p>意見・結論</p> <p>※4 における結果を総括し、確認結果における意見の理由を記載すること</p>	<p>当社は、環境開発株式会社が作成したプロジェクト計画書（プロジェクト名：焼却炉におけるファンのインバーター制御の導入及び未利用廃熱による蒸気発電機導入プロジェクト）に記載された温室効果ガス排出量削減情報は、J-クレジット制度における実施要綱、実施規程、モニタリング・算定規程、方法論に基づいて作成されていることを確認し、全ての重要な点において適正であると認める。</p>
--	--	---